

## 国民読書年の2010年 児童書の出展がさらに充実

TIBFの見どころの一つは児童書。どんな出展社がどんなブースを出すのかを紹介します。

### ■ 世界各国から夢あふれる『本』が集結

世界各国から絵本・児童書の専門出版社が出展します。アジア圏のみならず、イタリア、ベルギー、デンマーク、イギリス、米国、ブラジル、イランなどからも児童書の海外出版社が集結。また、国内に目を向けると小学館・ポプラ社・福音館書店・くもん出版・サンリオといった有力出版社が顔をそろえており、国内・海外ともにバラエティーに富んだ絵本・児童書が会場を埋め尽くします。

### ■ アジアにおける児童書の著作権取引の中心地

日本やアジアに売込もうと、毎年、各国の出版社が真剣な顔つきで著作権商談を行っています。その手助けとなっているのが「著作権取引支援サービス」。TIBFでの著作権取引をサポートする為に主催者が用意しており、事前にアポイントをとることのできる無料のシステムです(詳しくは→<http://www.bookfair.jp/rights/>)。児童書を中心にバラエティー溢れるコンテンツをもつモンダドーリやディアゴスティーニなどのイタリアパビリオン、かわいいイラストが特徴的なブラジルの Callis Editora、子供向け学習書籍でベストセラーを出しているアメリカの SANDVIK INNOVATIONS など多くの出展社がこのサービスを活用しています。今年もTIBFをきっかけに、多くの絵本・児童書がさまざまな言語に翻訳され、世界中の子どもたちを楽しませることになるでしょう。

### ■ 10日[土]・11日[日]の一般公開日には、各出版社が読者謝恩

10日[土]・11日[日]の一般公開日は、各出版社が読者謝恩として、本の特別価格での販売を行うほか、「迷路」シリーズで人気の香川元太郎さん(PHP研究所)や、NHK教育テレビで放映中の「はなかつぱ」の原作者あきやただしさん(メディアファクトリー)、日本でもおなじみの学習マンガ「サバイバルシリーズ」(国内外で計1000万部以上販)や「チャビの世界大冒険」の漫画家カン・キョンヒョさん(ミレエヌカルチャーグループアイセウム・韓国)など子どもに人気の著者が集まり、連日サイン会・トークショーなどのイベントが開催され、子どものいるご家族には、特に魅力的な2日間になります。

【サイン会・トークショーの詳細は→ <http://www.bookfair.jp/sign/>】